

令和3年度 文京区障害者地域自立支援協議会

第3回 就労支援専門部会 要点記録

日時 令和4年2月10日(木)15:00~16:30
場所 ハイブリッド式開催(文京区シビックセンター 障害者会館会議室 AB/ZOOM)
出席者 (障害者会館 AB) 佐瀬祥子
(ZOOM) 志村健一・瀬川聖美・藤枝洋介・伊藤博子・北村洋次郎・松井裕・石橋綾・小泉洋平
南雲ひとみ・阿部光実・平井芙美・小林美千代・中瀬茂由・有村秀一・天野亨
欠席者 永尾真一・加藤たか子

<会議次第>

1 開会

2 議題

- (1) 令和3年度第3回ワーキングの報告
- (2) 最新版のハンドブックについて各委員よりご意見
- (3) 親会への提言
- (4) 今後のスケジュールについて

<配布資料>

【資料第1】

第3回 ワーキングについて

【資料第2】

ハンドブック最新版(2/4 現在)

【資料第3】

ユニボイスについて

(1) 事務局より令和3年度第3回ワーキングについての報告(令和4年1月25日開催)

- ・表紙・・・アンケート結果に基づき決定
- ・地域生活あんしん拠点について・・・前部会のあと、あんしん拠点の会議にて提案し、掲載確定
- ・小石川メンタルクリニックからのデイケアの掲載について提案・・・
(社会資源チャートでデイケアの部分に[こころの健康ガイド]などを掲載するのはどうか。活用できるハンドブッ

クのページでデイケアも掲載されている旨説明をつけたらどうか)

→ 矢印の先として掲載をしているので、現状のままでよいのではないかと。リワークデイケアに特化させていく形で良いのではないかと。

- ・地域活動支援センターについて…社会資源確認チャートから「活用できるハンドブック」の「こころの健康ガイド」へ誘導するようにした。
- ・障害福祉課・保健サービスセンター・予防対策課の紹介ページ…参考ページがないため、案内は各窓口の問合せ先を掲載する形で対応
- ・専門部会当事者委員会天野様からの提案(筑波大学理療教員養成施設の掲載について)…社会資源マップでは特別支援学校のみとなった
- ・小石川メンタルクリニックのマップ掲載…社会資源マップへ掲載
- ・対象マークについて
- ・社会資源チャート 就労移行・A型・B型について(フォントの大きさ、移行とA・B型を分けて記載)…現在調整中
- ・ページの追加…「おわりに」「就労支援専門部会・ワーキングの名簿」「コラム」追加
- ・社会資源確認チャート:医療機関について(精神科だけでなく他の科も入ってくる、精神科限定でなくてもよいのではないかと)…今回は矢印(困り事)の先の窓口として限定、精神科のみで

【今後のスケジュール】

本日の部会の意見をハンドブックに反映、各事業所へは最終の誤字脱字の確認を行い、それを最終確認とする。
2月末までに最終確認、細かな調整を行い、3月中旬、後半には印刷に入れるようにしたい。

【資料3 ユニボイスについて】

フローチャートや、社会資源マップは、ユニボイスの性質上そのままの書き起こしが難しいため、ユニボイス用の表現で作成した。(資料3を元に説明)
今後、天野委員にも相談しながら、分かりやすい表現にしていく。

(2)最新版ハンドブックについての各委員からご意見

【資料第2】を元に最新版のハンドブックについて説明、各委員からの意見

対象マークについて

①-1 高次脳機能障害のマーク

→決定:○高で決定

①-2 高次脳機能障害、発達障害をマークに含めるか(身体、知的、精神の中を含む形にするか)

→決定:ハンドブックは“本人が使う”という意味合いで、高次脳機能障害と発達障害のマークを使用

※手帳ベースの考え方や、所属意識につながるツールという意味合い、発達障害の方の認識の件など意見あり

①-3 ○身、○知、○精、○難、○高の掲載ページについて

→決定:各事業所全ページに入れる。

ページ上部に記号、下部に説明書き。大きさについては、事務局とトヨタループスで調整

②社会資源チャート 就労移行支援・A型・B型の分け方について

案:就労に向けて→移行支援 自分のペースで働きたい→A・B型

意見:就労に向けた準備としてA,Bを使う人もいる、矢印は分けない方がよいのではないか。

(3)親会への提言、ハンドブックについての感想

- ・ハンドブックを“使うこと”が大事。そのためにも親会への提言は大切。
- ・医療機関(デイケア)は、社会資源に入れてもらにくいという意見があった。このハンドブックにより地域の事業所とともに医療も社会資源として使えると思ってもらえるきっかけになるか。
- ・就労に対しての取り組みのコロナ禍における影響(現場を見学できないことがある)
ハンドブックにより、説明しやすくなる(理解しやすくなる)、使えるツールだと感じる
- ・施設外就労については次年度検討
- ・区内の事業所の把握があまりできていなかった。文京区と関わる都にも配布してよいのではないか。→事務局に、配布場所についての意見を上げる仕組みを作してほしい
- ・作ってどう使うかも大切だが、作るプロセスでお互いの理解が深まった。来年度以降、使ってみての感想など聞いていきたい。

以上